

【便秘症治療の基本】

- 非刺激性下剤を毎日適量内服
- 排便回数は2回/日～1回/日を目標に、便性を整えていく
- 刺激性下剤・外用薬はオンデマンド治療として使用する

監修 消化器内科 島田友香里医長
(2021.9初版作成)
中本クリニック 中本博士院長
(地域版2025.4初版作成)

参考文献：添付文書、便通異常症診療ガイドライン 2023

機械的消化管閉塞又はその疑いがある患者



→ **消化器内科にコンサルト**



※() 内は1日薬価
2025.4時点

腎機能障害、年齢確認

右記条件以外

浸透圧性下剤

eGFR<30またはCr>1.5~2.0
75歳以上の高齢者

マグミット (¥47.2)

高Mg血症
症状：嘔吐、徐脈、傾眠、筋力低下など

- ・高Mg血症に注意
- ・高齢者、腎機能障害患者、長期投与患者
→定期的な血中Mg測定を推奨
- ・相互作用に注意

モビコールLD (¥122.8)

- ・粉末を水に溶解し服用(最大6包まで)
- ・患者に合わせ調節
- ・初回用法は1日1回(以降1日1~3回)
- ・増量は2日以上の間隔あける

地域：習慣性無く長期使用可. 高齢者小児でも使用可. カマグ使えない時の選択肢として◎

効き目が穏やか
安価
臨床での使用経験が豊富

地域：高齢者・他剤併用患者は副作用リスクや相互作用に注意

効果不十分

目安
マグミット
1.5g程度まで

下記薬剤と併用
または
下記薬剤への変更

調節しやすい
溶解後の味の好みに個人差あり
効果判定に時間を要する
特定の背景の患者がある場合は初回から選択可※保険上、他の下剤(OTCを含む)の使用歴が必要

水分分泌促進

アミティーザ 12μg
(¥192.8)

- ・1日2回**食後**1回2Cap
- ・用量依存的に効果発揮
- ・一包化○ (30日間)
- ・粉砕×
- ※妊婦に禁忌
- ※投与初期に悪心(若年に多い)

地域：高齢女性に多い便が硬くでないタイプに◎すっきり感あり

若い人への使用は悪心に注意
悪心のリスクがある患者は少量から開始

地域：OTCでセンナを使用している方が多い. 硬便か排出困難かを確認し適切な薬剤へ変更していく

地域：穿孔のリスクがあるため、個人での浣腸の使用はおすすめしない

水分分泌促進 + 腹痛軽減

リンゼス錠 0.25mg
(¥64.5~129)

- ・1日1回**食前**1回1~2錠
- ・腹痛を改善
- ・一包化、粉砕×
- ※下痢を避けるために投与開始時は前治療を減量するか切替え(可能な限り単剤投与へ移行)

地域：腹部症状の強い患者で◎

他剤で下痢を経験した患者は避ける
下痢しやすいため**食前**
効き過ぎの場合は減量又は休薬して低用量で再開

水分分泌促進 + 蠕動運動亢進

院外専
ゲーフィス錠 5mg
(¥160.4)

- ・1日1回**食前**1回2錠
- ・腸の動きが悪い場合に使用可
- ・一包化、粉砕○
- ※重篤な肝障害に使用不可
- ※併用注意あり(P糖タンパク質阻害作用)

肝障害時使用不可
ウルソ併用で効果減弱
胆嚢切除患者にも使用可
腹痛のある患者は避ける
便意の改善を期待できる

地域：刺激性下剤を使わず自然排便を促したい場合◎

オンデマンド治療として使用

刺激性下剤：センノシド(¥5.3~10.6)、ピコスルファートナトリウム(¥75/本)

外用薬：グリセリン浣腸液(¥118.5~166.50/個)、新レシカルボン(¥73.70/個)

地域：錠剤も有り. 短期使用にとどめる

地域：外用の摘便ではこちらをおすすめ

備考) ・オピオイド服用患者はスインプロイク、アミティーザを推奨
・漢方薬はエビデンスレベル低いため除外した(大黃含有製剤は頓用で使用を推奨)